

1

次の2次方程式を解け。

- (1) $3x^2 - 7x - 6 = 0$ (2) $4x^2 + 12x + 9 = 0$
 (3) $x^2 + 3x - 1 = 0$ (4) $3x(x - 2) = 1$

解説

- (1) 左辺を因数分解して $(x - 3)(3x + 2) = 0$ よって $x = 3, -\frac{2}{3}$
 (2) 左辺を因数分解して $(2x + 3)^2 = 0$ よって $x = -\frac{3}{2}$
 (3) $x = \frac{-3 \pm \sqrt{3^2 - 4 \cdot 1 \cdot (-1)}}{2 \cdot 1} = \frac{-3 \pm \sqrt{13}}{2}$
 (4) 展開して整理すると $3x^2 - 6x - 1 = 0$
 よって $x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 3 \cdot (-1)}}{3} = \frac{3 \pm 2\sqrt{3}}{3}$

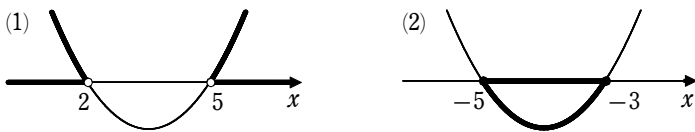
2

次の2次不等式を解け。

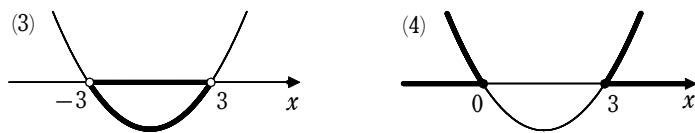
- (1) $(x - 2)(x - 5) > 0$ (2) $(x + 5)(x + 3) \leq 0$
 (3) $(x + 3)(x - 3) < 0$ (4) $(x - 3)x \geq 0$
 (5) $x^2 - x - 2 < 0$ (6) $x^2 - 7x + 12 \geq 0$
 (7) $x^2 + 2x \leq 0$ (8) $x^2 > 16$

解説

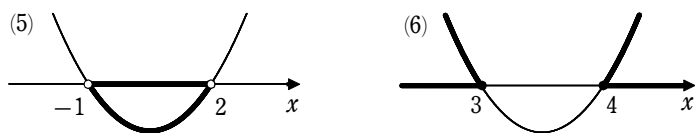
- (1) $(x - 2)(x - 5) > 0$ の解は $x < 2, 5 < x$
 (2) $(x + 5)(x + 3) \leq 0$ の解は $-5 \leq x \leq -3$



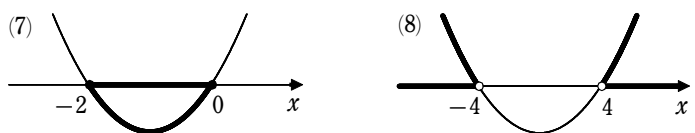
- (3) $(x + 3)(x - 3) < 0$ の解は $-3 < x < 3$
 (4) $(x - 3)x \geq 0$ の解は $x \leq 0, 3 \leq x$



- (5) $x^2 - x - 2 < 0$ から $(x + 1)(x - 2) < 0$
 この2次不等式の解は $-1 < x < 2$
 (6) $x^2 - 7x + 12 \geq 0$ から $(x - 3)(x - 4) \geq 0$
 この2次不等式の解は $x \leq 3, 4 \leq x$



- (7) $x^2 + 2x \leq 0$ から $(x + 2)x \leq 0$
 この2次不等式の解は $-2 \leq x \leq 0$
 (8) $x^2 > 16$ から $x^2 - 16 > 0$ すなわち $(x + 4)(x - 4) > 0$
 この2次不等式の解は $x < -4, 4 < x$



3

次の2次不等式を解け。

- (1) $3x^2 - 7x + 2 \leq 0$ (2) $(x - 6)(x - 4) \geq 25$
 (3) $x^2 \leq 8x - 16$ (4) $x > (x + 1)^2$

解説

- (1) 左辺を因数分解すると $(3x - 1)(x - 2) \leq 0$
 よって $\frac{1}{3} \leq x \leq 2$
 (2) 左辺を展開すると $x^2 - 10x + 24 \geq 25$
 整理すると $x^2 - 10x - 1 \geq 0$
 $x^2 - 10x - 1 = 0$ を解くと $x = 5 \pm \sqrt{26}$
 よって $x \leq 5 - \sqrt{26}, 5 + \sqrt{26} \leq x$
 (3) 整理すると $x^2 - 8x + 16 \leq 0$
 左辺を因数分解すると $(x - 4)^2 \leq 0$
 よって $x = 4$
 (4) 右辺を展開すると $x > x^2 + 2x + 1$
 整理すると $-x^2 - x - 1 > 0$
 すなわち $x^2 + x + 1 < 0$
 2次方程式 $x^2 + x + 1 = 0$ の判別式を D とすると
 $D = 1^2 - 4 \cdot 1 \cdot 1 = -3 < 0$
 よって、この2次不等式の解は ない

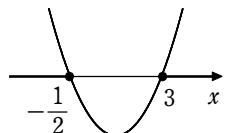
4

次の2次不等式を解け。

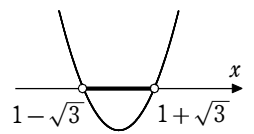
- (1) $2x^2 - 5x - 3 \geq 0$ (2) $x^2 - 2x - 2 < 0$

解説

- (1) $2x^2 - 5x - 3 = 0$ を解くと
 $x = -\frac{1}{2}, 3$
 よって、この2次不等式の解は
 $x \leq -\frac{1}{2}, 3 \leq x$



- (2) $x^2 - 2x - 2 = 0$ を解くと
 $x = 1 \pm \sqrt{3}$
 よって、この2次不等式の解は
 $1 - \sqrt{3} < x < 1 + \sqrt{3}$



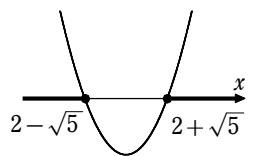
5

次の2次不等式を解け。

$$-x^2 + 4x + 1 \leq 0$$

解説

- 両辺に -1 を掛けると $x^2 - 4x - 1 \geq 0$
 $x^2 - 4x - 1 = 0$ を解くと $x = 2 \pm \sqrt{5}$
 よって、この2次不等式の解は
 $x \leq 2 - \sqrt{5}, 2 + \sqrt{5} \leq x$



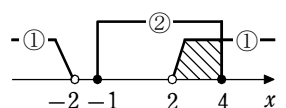
6

次の連立不等式を解け。

$$\begin{cases} x^2 - 4 > 0 \\ x^2 - 3x - 4 \leq 0 \end{cases}$$

解説

- $x^2 - 4 > 0$ から $(x + 2)(x - 2) > 0$
 よって $x < -2, 2 < x$ …… ①
 $x^2 - 3x - 4 \leq 0$ から $(x + 1)(x - 4) \leq 0$
 よって $-1 \leq x \leq 4$ …… ②
 ①と②の共通範囲を求めて
 $2 < x \leq 4$



7

次の連立不等式を解け。

$$\begin{cases} x^2 - 3x + 2 \geq 0 \\ x^2 - 3x - 10 < 0 \end{cases}$$

解説

$x^2 - 3x + 2 \geq 0$ から $(x-2)(x-1) \geq 0$

よって $x \leq 1, 2 \leq x$ …… ①

$x^2 - 3x - 10 < 0$ から $(x+2)(x-5) < 0$

よって $-2 < x < 5$ …… ②

①, ② の共通範囲を求めて $-2 < x \leq 1, 2 \leq x < 5$

8

次の不等式を解け。

(1) $-2 \leq x^2 + 3x \leq 4$

(2) $10 < x^2 + 3x \leq 2x + 12$

解説

(1) $-2 \leq x^2 + 3x \leq 4$ から

$$\begin{cases} -2 \leq x^2 + 3x & \dots\dots ① \\ x^2 + 3x \leq 4 & \dots\dots ② \end{cases}$$

① から $x^2 + 3x + 2 \geq 0$ すなわち $(x+2)(x+1) \geq 0$

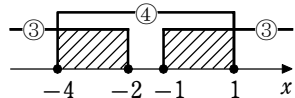
よって $x \leq -2, -1 \leq x$ …… ③

② から $x^2 + 3x - 4 \leq 0$ すなわち $(x+4)(x-1) \leq 0$

よって $-4 \leq x \leq 1$ …… ④

③ と ④ の共通範囲を求めて

$-4 \leq x \leq -2, -1 \leq x \leq 1$



(2) $10 < x^2 + 3x \leq 2x + 12$ から

$$\begin{cases} 10 < x^2 + 3x & \dots\dots ① \\ x^2 + 3x \leq 2x + 12 & \dots\dots ② \end{cases}$$

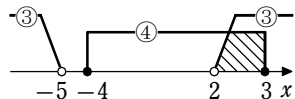
① から $x^2 + 3x - 10 > 0$ すなわち $(x+5)(x-2) > 0$

よって $x < -5, 2 < x$ …… ③

② から $x^2 + x - 12 \leq 0$ すなわち $(x+4)(x-3) \leq 0$

よって $-4 \leq x \leq 3$ …… ④

③ と ④ の共通範囲を求めて $2 < x \leq 3$



9

2次方程式 $2x^2 + 2mx + 1 = 0$ が実数解をもつとき、定数 m の値の範囲を求めよ。

解説

この2次方程式の判別式を D とすると

$$D = (2m)^2 - 4 \cdot 2 \cdot 1 = 4(m^2 - 2)$$

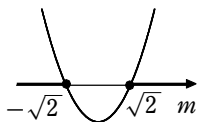
2次方程式が実数解をもつのは $D \geq 0$ のときであるから

$$m^2 - 2 \geq 0$$

$m^2 - 2 = 0$ を解くと $m = \pm\sqrt{2}$

よって、求める m の値の範囲は

$$m \leq -\sqrt{2}, \sqrt{2} \leq m$$



10

次の2次不等式を満たす整数 x をすべて求めよ。

(1) $2x^2 + x - 6 < 0$

(2) $4x - 2 \geq x^2$

解説

(1) $(x+2)(2x-3) < 0$ より $-2 < x < \frac{3}{2}$

この不等式を満たす整数 x は $-1, 0, 1$

(2) 式を整理すると $x^2 - 4x + 2 \leq 0$

$x^2 - 4x + 2 = 0$ を解くと $x = 2 \pm \sqrt{2}$

よって、この2次不等式の解は $2 - \sqrt{2} \leq x \leq 2 + \sqrt{2}$

$\sqrt{2} = 1.4\dots$ であるから、整数 x の値の範囲は $1 \leq x \leq 3$

この不等式を満たす整数 x は $1, 2, 3$

11

次の条件を満たすような、定数 m の値の範囲を求めよ。

(1) 2次関数 $y = 2mx^2 + x - 1$ のグラフが常に x 軸の下側にある。

(2) 2次不等式 $2x^2 - mx + m + 6 > 0$ が常に成り立つ。

解説

(1) この関数のグラフが常に x 軸の下側にある条件は、グラフが上に凸の放物線で、 x 軸と共有点をもたないことである。すなわち、2次関数の係数について

$$2m < 0 \quad \text{かつ} \quad 1^2 - 4 \cdot 2m \cdot (-1) < 0 \quad \dots\dots ①$$

① から $8m + 1 < 0$ よって $m < -\frac{1}{8}$

これは $2m < 0$ を満たす。

(2) $y = 2x^2 - mx + m + 6 \dots\dots ①$ とおく。

x^2 の係数は正であるから、①のグラフは下に凸の放物線である。

不等式 $2x^2 - mx + m + 6 > 0$ が常に成り立つための条件は、①のグラフが常に x 軸より上側にある条件と同じである。

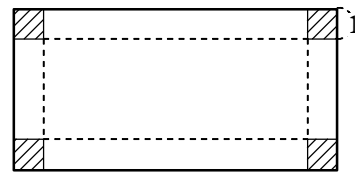
ゆえに、①の係数について $(-m)^2 - 4 \cdot 2 \cdot (m + 6) < 0$

整理すると $m^2 - 8m - 48 < 0$ よって $(m + 4)(m - 12) < 0$

したがって $-4 < m < 12$

12

横の長さが縦の長さの2倍である長方形の薄い金属の板がある。この板の四すみから、1辺の長さが1 cm の正方形を切り取り、ふたのない直方体の箱を作る。箱の容積を 4 cm^3 以上 24 cm^3 以下にするには、縦の長さをどのような範囲にとればよいか。



解説

長方形の板の縦の長さを $x \text{ cm}$ とすると、

横の長さは $2x \text{ cm}$

よって、直方体の箱の縦の長さは $x - 2 \text{ cm}$ 、

横の長さは $(2x - 2) \text{ cm}$ 、高さは

1 cm である。

ここで、 $x - 2 > 0$ かつ $2x - 2 > 0$ から

$$x > 2 \quad \dots\dots ①$$

このとき、箱の容積は

$$(x - 2) \cdot (2x - 2) \cdot 1 = 2(x - 1)(x - 2) \text{ (cm}^3\text{)}$$

箱の容積を 4 cm^3 以上 24 cm^3 以下にするには

$$4 \leq 2(x - 1)(x - 2) \leq 24$$

$4 \leq 2(x - 1)(x - 2)$ から $x^2 - 3x \geq 0$

よって $x(x - 3) \geq 0$

ゆえに $x \leq 0, 3 \leq x \dots\dots ②$

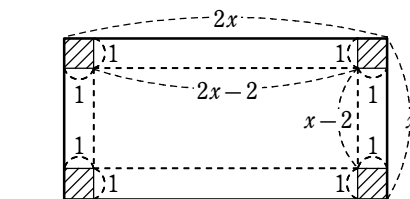
$2(x - 1)(x - 2) \leq 24$ から $x^2 - 3x - 10 \leq 0$

よって $(x + 2)(x - 5) \leq 0$

ゆえに $-2 \leq x \leq 5 \dots\dots ③$

① ~ ③ の共通範囲を求めて $3 \leq x \leq 5$

したがって、縦の長さを 3 cm 以上 5 cm 以下にとればよい。



単位は cm

